

お急ぎください！9月13日が開催日

第257回ゴム技術シンポジウム

次世代水素エネルギーシステムに求められるゴム・エラストマー材料

主催：日本ゴム協会研究部会 水素機器用エラストマー材料研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本材料学会、日本接着学会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本レオロジー学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会（順不同）

燃料電池自動車の市場投入から5年が経過し、今後のさらなる普及拡大に向け、次世代の燃料電池自動車、水素インフラの開発・整備が進められている。これらの次世代水素エネルギーシステムを支える高信頼性ゴム・エラストマー材料の開発が急務である。本シンポジウムでは今後の水素エネルギーシステムの方向性や次世代燃料電池自動車の開発動向を踏まえ、燃料電池自動車パワートレイン、高圧水素ホース、水素ステーション用機器の構成材料として使用されるゴム・エラストマー材料の開発動向などを紹介し、各種水素シール材料の要求特性などについて議論する。

日時：2019年9月13日（金）10:00～16:55

場所：工学院大学 新宿校舎 28階 第1会議室（東京都新宿区西新宿1-24-2 TEL:03-3342-1211(代)）

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 23,760円、日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員） 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください（定員80名）。

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。

振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

お問合先：一般社団法人日本ゴム協会 第257回ゴム技術シンポジウム係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階）

TEL:03-3401-2957 FAX:03-3401-4143 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp)

	演題	講師・座長
10:00～10:05	開会のあいさつ	水素機器用エラストマー材料研究分科会副主査 古賀 敦 【座長】九州大学 藤原 広匡
10:05～10:55	高圧水素機器用エラストマー材料の水素特性評価の進捗	九州大学大学院 西村 伸氏 各種ゴム・樹脂材料の高圧水素環境下での特性評価の現状について報告する。
10:55～11:45	優れた高圧水素特性を有するカーボンナノチューブ/ゴム複合材料の開発	日本ゼオン(株) 武山 慶久氏 カーボンナノチューブを活用した優れた高圧水素特性に関する研究開発を紹介する。 【座長】九州大学大学院 西村 伸
13:00～13:50	次世代燃料電池に向けた材料開発の方向性	山梨大学 柿沼 克良氏 高温作動・高耐久に向けた次世代触媒・高分子電解質膜等の開発動向を説明する。
13:50～14:40	側鎖1,2-ジオールを有するEVOHとPA6/66系複合材料の自由体積と高圧水素耐性に関する研究	滋賀県立大学 徳満 勝久氏 高圧水素タンクへの適用に向けた1,2ジオール変成EVOH/Nylon6/66系複合材料の物性評価結果について報告する。
14:50～15:40	Hondaの燃料電池自動車開発と水素社会に向けて	(株)本田技術研究所 小此木 泰介氏 FCV開発の現状、および燃料電池スタック/セパレータ技術と今後の課題について紹介する。
15:40～16:50	全体討論・パネルディスカッション 「次世代燃料電池自動車・水素ステーションに求められるゴム・エラストマー材料」	パネラー：講演者
16:50～16:55	閉会のあいさつ	水素機器用エラストマー材料研究分科会主査 西村 伸

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。